

「家庭学習MGC」実践例

西浦小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 低・中・高学年に配布している「家庭学習の手引き」より【低学年】

- (1) かえったら すぐに しゅくだいを すませましょう。
- (2) がくしゅうするじかんを いえのひとと はなしあって きめ、きめたじかんに がくしゅうするようにしましょう。
- (3) がくしゅうに ひつようなようぐ(えんぴつ、けしごむ、じょうぎ)などは、じゅんびしてから はじめましょう。
- (4) がくしゅうするときは テレビをけし つくえで がくしゅうしましょう。
- (5) きめられたじかんは すわっておくように しましょう。
- (6) かていがくしゅうは「たくしゅう」→「にっき」→「どくしよ」→「おんどく」のじゅんでしましょう。
- (7) おんどくは、かならず いえで おうちのひとに きいてもらいましょう。
- (8) しゅくだいが わわたら、まちがっている ところはないか みなおしましょう。

(いえのひとに みてもらっても いいですね。)

【中学年】

- (1) 学習時間を家の方と話し合って決め、設定した時間に学習する習慣をつけましょう。
- (2) 自分なりの学習方法で、計画的に学習するようにしましょう。
- (3) 学習に必要な用具(鉛筆、消しゴム、定規、色鉛筆)などは、準備してから取りかきましょう。
- (4) 学習する時はテレビを消し、机で学習しましょう。
- (5) 家庭学習・児童クラブでの学習は、「宅習」「日記」から先にしましょう。
- (6) 音読は必ず家でおうちの人に聞いてもらいましょう。

【高学年】

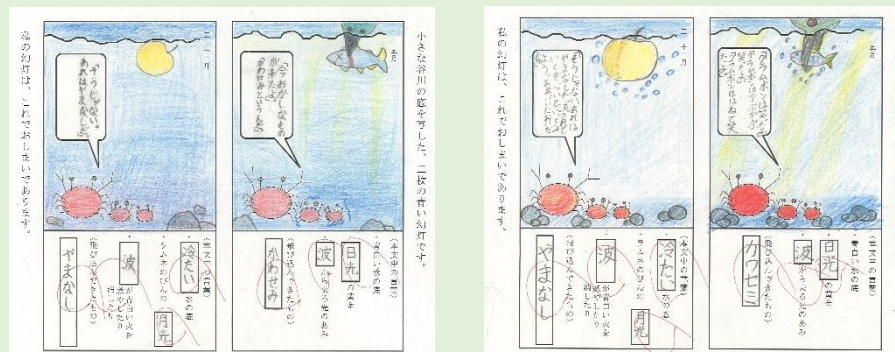
- (1) 学習時間を家の方と話し合って決め、設定した時間に学習する習慣をつけましょう。
- (2) 見通しをもって、自分なりの学習方法で計画的に学習するようにしましょう。
(一週間程度の計画を立ててみましょう。)
- (3) 学習に必要な用具(鉛筆、消しゴム、定規、色鉛筆)等を、準備してから取りかきましょう。
- (4) 学習するときは、テレビを消し、机で学習しましょう。
- (5) 「宅習」「日記」から先にしましょう。
- (6) 「音読」は、必ず家でおうちの人に聞いてもらいましょう。

○ MGCの取組

【小学6年生 国語のMGC】

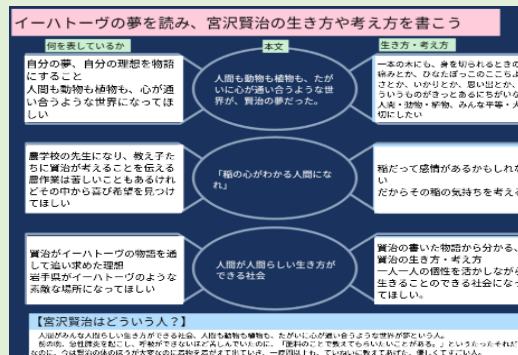
「個人の課題を解決するために、予習に取り組んだ家庭学習」

★ポイント1 5月と12月の幻灯を絵に表して比較する(家庭学習での取組)



文章だけでは読み取りにくいことでも、絵に表すことで「死や生」「自然の怖さや恵み」について理解できる部分が多い。

★ポイント 宮沢賢治の考えを知る(授業での取組)



「イーハトーブの夢」から宮沢賢治の性格や考え方が分かりそうな部分を書き出し、そこから、宮沢賢治の生き方や考え方を考える。

★ポイント2 宮沢賢治の考えと「やまなし」の関連をまとめる(家庭学習での取組)

「イーハトーブの夢」で読み取ったことが、「やまなし」ではどのように表現されているか読み取り、友達との考えを比較する。

